

本市出身の作家による作品や市が舞台になった作品などから、図書施設や文化施設のスタッフに、自分で読んでみて面白いと思った本を紹介していただきました。市には、森鷗外や林芙美子などの文学者、松本零士、わたせせいぞうなどの漫画家など、ゆかりのある作家が数多くいます。図書施設にある気になる本を探して読んでみませんか。

※漫画「インビンシブル」は漫画ミュージアムで、それ以外の本は中央図書館や各地区図書館などで所蔵しています。図書館で予約が多い場合はすぐに貸し出しできないことがあります。



時間の習俗

松本清張/作
新潮文庫

物語は、旧暦元旦の未明、門司の和布刈神社で古式ゆかしく行われる神事の描写で幕を開けます。同じ日の夜、神奈川県相模湖畔で殺人事件が起こります。しかし、容疑者は「和布刈神事」を拝観し、それをカメラに収めていたというアリバイが……。フィルムトリックを駆使した「完全なアリバイ」に、「点と線」でおなじみの三原警部補と鳥飼刑事のコンビが挑みます。社会派ミステリーブームを巻き起こした名作「点と線」発表の四年後に、本作も雑誌「旅」に連載されました。お正月の休みに、「和布刈」発、ミステリーの旅はいかがでしょう。

松本清張記念館
学芸担当
中川里志さん



ある男

平野啓一郎/作
文春文庫

作者は八幡西区出身の芥川賞作家。物語は、亡くなった夫が別人だったことが判明し、妻の里枝が弁護士に依頼することから始まります。夫(ある男)は一体誰だったのか?里枝と城戸、二人の視点で物語が展開し、次第に「ある男」の人生が浮かび上がるミステリー仕立てになっており、物語に一気に引き込まれます。多面的な存在であるはずの人間が、ある一面だけ強調されて語られ、人生を決定づけられてしまう不条理な現実が描かれる一方で、人間の優しさや愛の可能性も感じられる作品です。「私」(自分自身)について考えるきっかけにも。今年、映画化されます。

文学館
学芸員
小野恵さん



インナーアース

小森陽一/作
集英社文庫

このSF小説は、日本海の地下深くに出現した大空洞の地図作りを題材とした物語。会社のモデルになったのは北九州市に本社を構える国内大手の地図製作会社ゼンリン。作中の地図製作会社も北九州にあるため、地元の地名や街が多数登場します。フィクションと分かっていながらも、まるで彼らが現実存在しているかのように感じられます。また、行き方も対策も分からない前人未到の地底に挑む彼らを通して、地図作りの現場のリアルを知り、読み手は家にいながら地底を探検する感覚を味わえます。読み終えた後は本に登場するゆかりの地に行きたくなる1冊です。

中央図書館
司書
上條ひとみさん



コンビニ兄弟 -テンダネス門司港こがね村店-

町田そのこ/作
新潮文庫

門司港を舞台に、コンビニを中心に回る、人々の温かい交流の物語。コンビニは、老若男女分け隔てなく利用する場所の一つです。短編で構成されている本作は、一作ごとに登場人物が変わり、さまざまな世代、さまざまな苦悩がコンビニに関わることによって癒やされていきます。テンダネスというチェーン店名にふさわしく、優しさにあふれた物語です。読み終えた後はきっと誰かに優しくしたくなることでしょう。なじみの地名も数多く出ていて、物語を色鮮やかに彩ってくれます。

※表紙デザインは発行時期によって異なります

中央図書館
司書
三井恵未子さん



松本清張記念館 ☎582・2761

〒803-0813 小倉北区内2-3
開9時30分～18時(入館は17時30分まで) 毎月曜日(祝・休日のときは開館し翌日が休館)、12月29日～1月3日 料一般600円、中学・高校生360円、小学生240円

文学館 ☎571・1505

〒803-0813 小倉北区内4-1
開9時30分～18時(入館は17時30分まで) 毎月曜日(祝・休日のときは開館し翌日が休館)、12月29日～1月3日 料一般240円、中学・高校生120円、小学生60円

中央図書館 ☎571・1481

〒803-0813 小倉北区内4-1
開9時30分～19時(土・日曜日、祝・休日は、9時30分～18時) 毎月曜日(祝・休日のときは開館し翌日が休館)、12月27日～1月3日、館内整理日(原則、毎月末日)

施設情報

知らないともったいない図書館の活用方法

▼希望する本の予約ができます

市立図書館(中央図書館、子ども図書館、各地区図書館・分館)では読みたい本が貸し出し中のときは、予約をすることができます。市内の図書館にある本は取り寄せも可能です。本の準備ができ次第、希望の連絡先にご連絡します(利用者登録が必要)。
※取り寄せできないものもあります。

▼図書館に行かなくても予約ができます

市立図書館では、パソコンやスマートフォンから資料の予約が可能です。また、貸し出しや予約の状況確認などもできます。

▼市外の公共図書館からの本の取り寄せもできます

市内の図書館に所蔵がないものは、市外の図書館からの取り寄せにも相談に乗ります。
※国立国会図書館・他の自治体図書館からの本の取り寄せには、送料がかかる場合があります。

▼調べもののお手伝いをします

市立図書館には「司書」という図書の専門家がいます。司書は、皆さんに読んで欲しい本を取り寄せたり、たくさんある本を分類・整理したり、資料を探して欲しい時に相談に乗ってくださる仕事をしています。「こんな本が読みたい」「郷土史を調べたい」など図書について分からないことがあったら、相談してみましょう。

図書館の司書さんに
聞いてみました



問 中央図書館
☎571・1481

